

仕様伺書

対象形式：PSN3

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		SER. No.	—		
お 名 前		営業担当			
注 番					

記入方法：標準設定値以外での出荷をご希望の場合、ご指定出荷時設定値の項に設定値を記入して下さい。

は、いずれか一つを選択し、に印を記入して下さい。全て標準設定値の場合は、仕様伺書は不要です。

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	コメント
------	-----------	-------	------

■ハードウェアによる設定項目（カバー内部のSWにて設定します。）

作動	<input type="checkbox"/> 正作動 <input type="checkbox"/> 逆作動	逆作動	逆作動に選定時、入力信号減少で出力軸は伸長します。
入力信号異常低下時の動作	<input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 短縮 <input type="checkbox"/> 伸長	停止	

■ハードウェアまたはソフトウェアによる設定項目（カバー内部のSWまたはプログラミングユニットにて設定します。）

() 内寸法は出力軸形状ステムボタンのとき

全開・全閉位置 [伸長端] 66 ~ 126 (52 ~ 112) mm	<input type="checkbox"/> 最長 <input type="checkbox"/> mm	最長	出力軸伸長時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。
全開・全閉位置 [短縮端] 66 ~ 126 (52 ~ 112) mm	<input type="checkbox"/> 最短 <input type="checkbox"/> mm	最短	出力軸短縮時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。 [伸長軸] < [短縮軸] になるような設定はできません。
出荷時出力軸位置 66 ~ 126 (52 ~ 112) mm	<input type="checkbox"/> 最短 <input type="checkbox"/> mm	最短	出荷時のヨーク取付面から出力軸先端までの寸法です。

■ソフトウェアによる設定項目（プログラミングユニットにて設定します。）

伸長側リミッタ*1 -5 ~ +25 %、0.1 % 単位		0 %	
短縮側リミッタ*1 75 ~ 105 %、0.1 % 単位		100 %	
全開・全閉信号 (伸長側)*1 0 ~ 25 %、0.1 % 単位		2 %	全開・全閉信号を使用される場合は指定して下さい。 全開・全閉信号 (伸長側) ≥ (伸長側リミッタ + 0.5 %)
全開・全閉信号 (短縮側)*1 75 ~ 105 %、0.1 % 単位		98 %	全開・全閉信号を使用される場合は指定して下さい。 全開・全閉信号 (短縮側) ≤ (短縮側リミッタ - 0.5 %)
スプリットレンジ	<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり	指定なし	スプリットレンジで使用される場合は、『指定あり』にチェックして下さい。
スプリットレンジの種類	<input type="checkbox"/> LO <input type="checkbox"/> HI	LO	スプリットレンジで使用される場合は指定して下さい。
スプリット点*1 30 ~ 70 点、0.1 % 単位		50 %	スプリットレンジで使用される場合は指定して下さい。
開閉速度設定値 1 ~ 50		24	開閉速度により推力が異なります。次項を参照して下さい。
不感帯設定値 0.1 ~ 5 %、0.1 % 単位		0.5 %	最大ストロークを 100 % として指定します。
再起動制限タイム 0 ~ 30 s、0.1 s 単位		2 s	
電源断時の開閉速度設定値 1 ~ 50		24	停電緊急作動機能付きの場合は指定して下さい。 開閉速度により推力が異なります。次項を参照して下さい。
電源断時の出力軸動作位置*1 0 ~ 100 %、0.1 % 単位		0 %	停電緊急作動機能付きの場合は指定して下さい。 この時、不感帯幅設定値は 0.5 % (1 / 200) となります。

* 1、伸長端、短縮端で設定したストロークを 100 % として指定します。

仕様書作成の手引き

■入力信号異常低下時の動作について

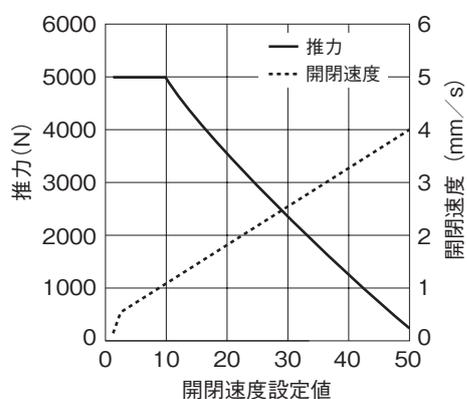
入力信号が約 1.5 mA（電圧入力選定時は約 0.37 V）以下になったとき、停止、短縮または伸長を選定することができます。

この動作モードを規定しているのが入力信号異常低下時の動作です。

■開閉速度について

ソフトウェアの設定項目において、開閉速度を変更することができますが、開閉速度により推力が変わります。必要推力を考慮の上、下記を参考にして開閉速度設定値を選定して下さい。

なお、開閉速度および開閉時間は加速・減速時間を含んでいません。加速・減速時間はそれぞれ約 0～2 秒で、開閉速度が速いほど長くなります。



開閉速度設定値 [A]	開閉速度 (mm/s)	開閉時間 (S/20 mm)	推力 (N)
1	0.22	92.6	5000
2	0.38	52.4	5000
10	0.99	20.2	5000
13	1.22	16.4	4500
16	1.44	13.8	4000
20	1.75	11.4	3500
24	2.05	9.7	3000
28	2.35	8.5	2500
33	2.73	7.3	2000
36	2.96	6.8	1500
41	3.34	6.0	1000
48	3.87	5.2	500
50	4.02	5.0	350

開閉速度設定値 [A] と開閉速度 [V] の関係は下記の通りです。

ただし、 $2 \leq A \leq 50$ のとき。

$$V \approx 0.076 \times A + 0.231$$

■再起動制限タイマについて

モータの過熱防止のため、モータが一旦不感帯に入ると停止すると、次に起動するまでにインターバルを設けてモータの過熱を防止しています。高湿雰囲気で使用される場合は、再起動制限タイマを長く設定して下さい。

■スプリットレンジについて

ソフトウェアの設定項目において、スプリットレンジの設定ができます。スプリットレンジを指定される場合は、下図を参考にしてスプリットレンジの種類およびスプリット点も指定して下さい。

なお、スプリットレンジが指定なしの場合、スプリットレンジの種類およびスプリット点の設定値は無効となります。

